

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公表番号】特表2006-507324(P2006-507324A)

【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-551394(P2004-551394)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4035 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/04 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 209/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 15/08

A 6 1 P 17/04

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 209/46

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 0

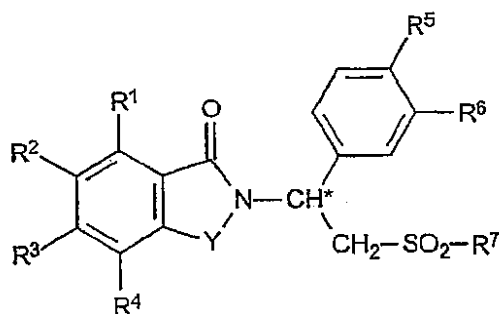
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 0】

前記選択的サイトカイン阻害薬が式 (I I I) :

【化 4】



(III)

[式中、* で印した炭素原子はキラル中心を構成し；

Y は、C = O、CH₂、SO₂、または CH₂C = O であり；

R¹、R²、R³、および R⁴ のそれぞれは、互いに独立して、水素、ハロ、1 ~ 4 個の炭素原子を有するアルキル、1 ~ 4 個の炭素原子を有するアルコキシ、ニトロ、シアノ、ヒドロキシ、または -NR⁸R⁹ であるか、隣接する炭素原子上の R¹、R²、R³、および R⁴ のうちの任意の 2 つは、示したフェニレン環と一緒になってナフチリデンであり；

R⁵ および R⁶ のそれぞれは、互いに独立して、水素、1 ~ 4 個の炭素原子を有するアルキル、1 ~ 4 個の炭素原子を有するアルコキシ、シアノ、または 18 個までの炭素原子を有するシクロアルコキシであり；

R⁷ は、ヒドロキシ、1 ~ 8 個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、ベンジル、または NR^{8'}R^{9'} であり；

R⁸ および R⁹ のそれぞれは、互いに独立して、水素、1 ~ 8 個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、R⁸ および R⁹ のうち一方が水素であり他方が -COR¹⁰ または -SO₂R¹⁰ であるか、R⁸ および R⁹ は一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または -CH₂CH₂X¹CH₂CH₂- であり (式中、X¹ は -O-、-S- または -NH- である)；

R^{8'} および R^{9'} のそれぞれは、互いに独立して、水素、1 ~ 8 個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、R^{8'} および R^{9'} のうち一方が水素であり他方が -COR^{10'} または -SO₂R^{10'} であるか、R^{8'} および R^{9'} は一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または -CH₂CH₂X²CH₂CH₂- であり (式中、X² は -O-、-S-、または -NH- である。)、

R¹⁰ は、水素、1 ~ 8 個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルであり、

R^{10'} は、水素、1 ~ 8 個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルである]

を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

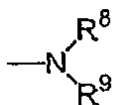
上記式中、n は、1、2、または 3 の値を有し；

R^5 は、置換されていない、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アシルアミノ、1～10個の炭素原子を有するアルキル、1～10個の炭素原子を有するアルコキシ、および八口からなる群からそれぞれ独立して選択された1～4個の置換基で置換されたo-フェニレン；

R^7 は、(i)フェニル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1～10個の炭素原子を有するアルキル、1～10個の炭素原子を有するアルコキシ、および八口からなる群から互いにそれぞれ独立して選択された1つまたは複数の置換基で置換されたフェニル、(ii)置換されていない、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1～10個の炭素原子を有するアルキル、1～10個の炭素原子を有するアルコキシ、および八口からなる群から選択された1～3個の置換基で置換されたベンジル、(iii)ナフチル、ならびに(iv)ベンジルオキシであり；

$R^{1,2}$ は、-OH、1～12個の炭素原子を有するアルコキシ、または

【化2】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

上記式中、* で印した炭素原子はキラル中心を構成し；

Y は、 $C=O$ 、 CH_2 、 SO_2 、または $CH_2C=O$ であり； R^1 、 R^2 、 R^3 、および R^4 のそれぞれは、互いに独立して、水素、八口、1～4個の炭素原子を有するアルキル、1～4個の炭素原子を有するアルコキシ、ニトロ、シアノ、ヒドロキシ、または $-NR^8R^9$ であるか、隣接する炭素原子上の R^1 、 R^2 、 R^3 、および R^4 のうち任意の2つは、示したフェニレン環と一緒にナフチリデンであり；

R^5 および R^6 のそれぞれは、互いに独立して、水素、1～4個の炭素原子を有するアルキル、1～4個の炭素原子を有するアルコキシ、シアノ、または18個までの炭素原子を有するシクロアルコキシであり；

R^7 は、ヒドロキシ、1～8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、ベンジル、または NR^8R^9 であり；

R^8 および R^9 のそれぞれは、互いに独立して、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、 R^8 および R^9 のうち一方が水素であり他方が $-COR^{10}$ または $-SO_2R^{10}$ であるか、 R^8 および R^9 は一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または $-CH_2CH_2X^1CH_2CH_2-$ であり（式中、 X^1 は $-O-$ 、 $-S-$ または $-NH-$ である）；

R^8 および R^9 のそれぞれは、互いに独立して、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、フェニル、またはベンジルであるか、 R^8 および R^9 のうち一方が水素であり他方が $-COR^{10}$ または $-SO_2R^{10}$ であるか、 R^8 および R^9 は一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、または $-CH_2CH_2X^2CH_2CH_2-$ であり（式中、 X^2 は $-O-$ 、 $-S-$ 、または $-NH-$ である。）；

R^{10} は、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルであり、

R¹⁰ は、水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル、またはフェニルである。